

こたえ 助長

基礎⑤

助長

(中国の故事)

昔、中国の宋^{そう}という国に、一人の農夫がいました。農夫は、畑にまいたなえが、なかなか大きくならないのを、毎日心配していました。となりの畑のなえとくらべても、自分のなえは小さく見えてなりません。

「どうすれば、なえが早く大きくなるだろうか。」

ある日、農夫は、よい方法を思いつきました。そして、朝から晩まで、畑のなえを、一本一本、少しずつ上に引っぱりました。なえがのびれば、それだけ早く大きくなると思いこんでいたのです。

夕方、くたくたにつかれて家に帰った農夫は、家族に自慢^{じまん}げに言いました。「ああ、つかれた。今日は、なえが大きくなるのを手伝ってやったよ。」

それを聞いたむすこが、おどろいて畑へ走っていくと、なえは、みんなかれてしまっていました。根が、土からぬけかけていたのです。

この話から、わざと手を加えて成長を早めようとして、かえってだめにしてしまうことを、「助長」というようになりました。今では、「よくない傾向^{けいこう}を、ますます強めること」という意味でも使われています。

植物には、植物の育つ速さがあります。急がず、じっくり見守ることも大切なのです。

1

農夫は、なえをどうしましたか。

一本一本、少しずつ上に

引
つ
ぱ
っ
た

2

なえがかれてしまったのは、どうしてですか。

ア

根が、土からぬけかけていたから。

イ 水をやらなかったから。

ウ 日が当たらなかったから。

3

農夫は、どんな気持ちでなえを引っぱったのですか。

ア

なえを早く大きくしたいという気持ち

イ なえをぬいてしまいたいという気持ち

ウ むすこを困らせたいという気持ち

4

もとの「助長」の意味に合うものに、○をつけましょう。

ア

手を加えて成長を早めようとして、かえってだめにするこ

イ 人を助けて、はげますこと

ウ 長い時間をかけて育てること